

事前評価個表

| | |
|------|----|
| 整理番号 | 13 |
|------|----|

| | | | |
|---------|-----------------|--------|-------------------|
| 地域（地区）名 | てんりゅう 天 竜 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 静岡県 | 対象市町村 | はままつし 浜松市ほか7市町 |
| 事業実施期間 | H31 ～ H35 （5年間） | 事業実施主体 | 県、市町、森林組合、森林所有者等 |

| | |
|----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>本地域は、南アルプスに連なる標高2,297mの中ノ尾根山を頂点に南に向かって急峻な尾根が枝分かれしつつ、洪積台地、扇状地、沖積平野が形成され、その間を菊川、太田川、天竜川、都田川等の大小河川が遠州灘や浜名湖へ注いでいる。</p> <p>本地域の森林面積は、133,651haで区域面積の54%を占め、このうち民有林面積は110,980ha、人工林率72%であり人工林の割合が多い特徴を持っている。人工林の齢級別内訳は、Ⅰ～Ⅶ齢級が12%、Ⅷ齢級～Ⅺ齢級が42%、Ⅻ齢級以上が46%となっており、今後伐採量の増加が見込まれる。</p> <p>近年、利用間伐等の推進により森林の整備が進んだ一方で、森林施業の集約化が進まない地域の森林では、間伐等の適正な森林整備が行われず、森林の有する水源涵養等の公益的機能の低下が危惧される。</p> <p>そのため、森林経営計画の策定促進とあわせ、本事業を実施することで適正な森林整備、森林資源の有効活用を進め、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮を図る。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：2,936ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：5,972m 林業生産基盤整備道、林業専用道</p> <p>総事業費：2,985,029千円（税抜き 2,763,916千円）</p> |
| 費用便益分析結果 | <p>B/C=3.59 （総便益（B）=11,411,341千円、総費用（C）=3,180,621千円）</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：人工林の割合が多い地域で伐採量の増加も見込まれており、集約化を進め適正な森林整備を図ることが求められており、本事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から、十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林の確保・育成が進み、森林の有する公益的機能の高度な発揮を図るとともに、持続的な森林資源の活用も図られており、事業の有効性が認められる。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

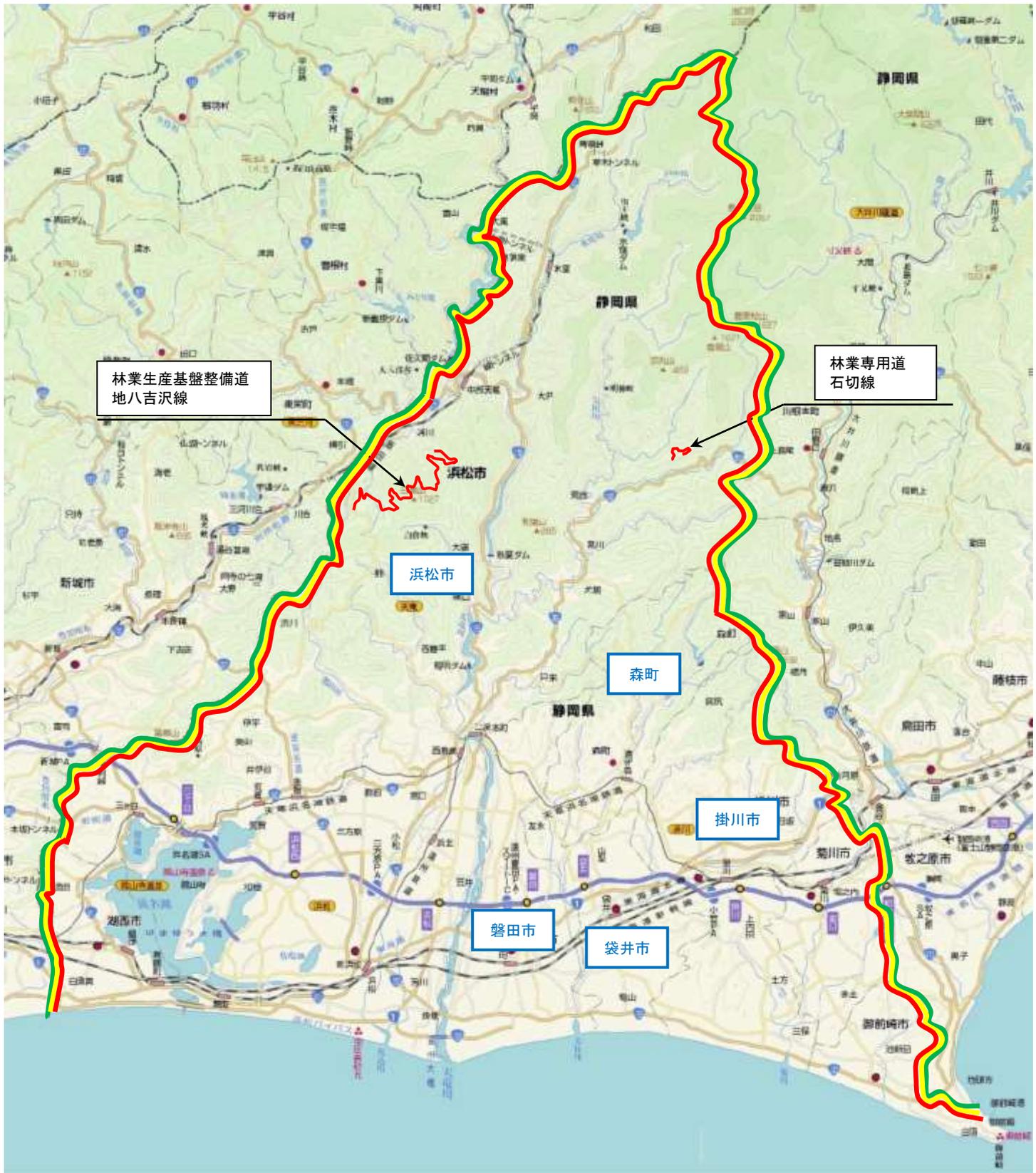
都道府県名: 静岡県

地域(地区)名: 天竜^{てんりゅう}

(単位: 千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評価額 | 備 考 |
|-----------------------|--|------------|-----|
| 水源涵養 ^{かん} 便益 | 洪水防止便益 | 2,819,062 | |
| | 流域貯水便益 | 907,294 | |
| | 水質浄化便益 | 1,929,315 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 1,930,042 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 925,331 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産等経費縮減便益 | 375,837 | |
| | 木材利用増進便益 | 206,037 | |
| | 木材生産確保・増進便益 | 1,462,455 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林整備促進便益 | 855,968 | |
| 総 便 益 (B) | | 11,411,341 | |
| 総 費 用 (C) | | 3,180,621 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{11,411,341}{3,180,621} = 3.59$ | | |

森林環境保全整備事業 天竜地域（静岡県）概要図



林業生産基盤整備道
地八吉沢線

林業専用道
石切線

浜松市

森町

掛川市

磐田市

袋井市

| 凡例 | |
|------|---|
| 計画区界 |  |
| 事業区域 |  |
| 森林整備 |  |

